# 福井県 公立高入試 社会 セット5 後半

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。
問8〜13（全13問の後半）

名前

出席番号　　必要な人は書く

**問8**　ある地域の浸水想定区域や土砂災害の危険箇所、避難場所などが色分けして示された資料を活用する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。

- ○ 観光客が効率よく地域の景勝地を巡ることができるよう、最短経路を周知するため
- ○ 土地の正確な標高や傾斜を測定し、大規模な公共施設の建設費を算出するため
- ○ 住民が居住地域の災害リスクを事前に把握し、避難行動や備えに役立てるため
- ○ 過去の土地利用の変遷を記録し、歴史的な街並みを保存する計画を立てるため

**問9**　日本の過疎地域において、人口の極端な減少が地方自治体の財政に与える影響として、最も適切な説明はどれですか。

- ○ 自治体の主な財源である地方税の収入が減少し、公共サービスやインフラの維持が困難になる
- ○ 若年層が流出して高齢化が進んだとしても、国庫支出金のみですべての公共サービスを賄うことができる
- ○ 居住する住民の数が減ることで、行政サービスの需要がなくなり、財政状況は大幅に改善される
- ○ 人口密度が下がることでインフラ整備の必要性がなくなり、地方債を発行して借金を返す必要がなくなる

**問10**　日本の工業統計において、愛知県を中心に、工場が極めて高い密度で集中している地域が見られます。この地域では自動車工業が特に盛んですが、日本最大の製造品出荷額を誇るこの工業地帯の名称を選択してください。

- ○ 北九州工業地帯
- ○ 阪神工業地帯
- ○ 京浜工業地帯
- ○ 中京工業地帯

**問11**　当時の貿易統計において、輸出額の約8割を生糸と茶が占めていた背景として、日本がどのような対応を行っていたと考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。

- ○ 海外から輸入された安価な生糸を横浜港で集積し、他国へ転売する中継貿易が中心であった。
- ○ イギリスから輸入した綿糸を国内で加工し、生糸として再輸出する加工貿易を推進した。
- ○ 欧米諸国で需要が高まっていた生糸を確保するため、農村では養蚕や製糸業が盛んになった。
- ○ 国内の絹織物需要を抑制するために、政府が国民に生糸のままでの販売を強制した。

**問12**　インターネット上の膨大な情報に向き合う際、情報の真偽を確かめる態度の重要性が強調されています。このようにメディアリテラシーが強く求められるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。

- ○ コンピューターやインターネットを使いこなせる人とそうでない人の間で、情報の取得量に格差が生じているから。
- ○ 知的財産権を保護するために、著作権のある情報を無断で複製したり配布したりすることを防ぐ必要があるから。
- ○ インターネット上では誰もが手軽に情報を発信できるため、誤った情報や偏った見解が混じることがあるから。
- ○ SNSなどを通じて個人の氏名や住所などの情報が外部へ漏れ出し、悪用される危険性が高まっているから。

**問13**　情報化社会の進展に伴い、「新しい人権」の一つとして重要視されている、自分の私生活に関する情報を勝手に公開されない権利や、自分の情報をコントロールする権利を何といいますか。

- ○ プライバシーの権利
- ○ アクセス権
- ○ 知る権利
- ○ 表現の自由